

「あこがれの自分を目指して ～共に歩む！一人でも翔ぶ！～」

平成29年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成30年1月26日(金)発行 第 39 号 発行責任者:高橋 弘悦

2月



あと二ヶ月、学年のま とめの時期です。

一年間のうちで最も寒さの厳しい時期を迎えました。間もなく2月になります。

3日は季節を分ける意味から名づけられた節分、そして4日は立春です。まだまだ厳しい寒さが続きますが、これからは日も長くなり確実に春に近づいていきます。そして、この季節に合わせるかのように各学年の子どもたちの活動も、進級や卒業に向けて活発になってきます。特に今年は西山中学校がその歴史を閉じる年でもあります。「とってもいい思い出ができた一年だった。西山中学校で学べて幸せだった」と、どの子どもも振り返れるよう残された二ヶ月間をがんばってくれることを願っています。

〔2月〕 学校経営の重点

「学年終盤の2月、冬に鍛え、自分を磨こう！」

1 「教育目標・目指す生徒像」の具現を目指した年度末の取り組み

(1) 教育目標「心豊かに自ら生き抜く心身ともにたくましい生徒」の育成をめざしたま
とめの活動をします。

- ・心身の健康づくりに楽しく積極的に取り組む生徒
- ・交流や郷土理解を通して郷土に誇りを持つ生徒
- ・進路を見つめ、計画的・継続的に学習する生徒



2 総仕上げの時期の具体的な取り組み

(1) 厳冬期の2月に、心身ともに、冬に鍛える。

- 寒さに積極的に挑戦し、鍛錬する気持ちを大切にします。
- 冬や雪の素晴らしさや楽しさを体験させます。
- 風やインフルエンザの予防、元気に学校生活を過ごすような体調管理、健康の保持増進に心がけさせます。

(2) 心の教育、生徒指導の充実

- 道徳の時間・学級活動等で「心を育てる、心の成長を実感させる指導」を実践します。

(3) 学習面のまとめ、生活面・係活動などの反省評価する場を設けます。

(4) 進級・進学への土台作りをします。

- 主体的な学習態度、きちんとした生活態度、進級・進学への心構え

(5) 希望進路の実現を目指した進路指導の充実を図ります

基本は読み取る能力

学力調査の結果から

先日、福島県学力調査の結果が届きました。福島県が独自に、2年生を対象に行っている全県的な学力調査です。問題は全国を標準としており、この結果を踏まえて、次年度4月に行われる全国学力量習状況調査につなげようとするものです。

本校生徒の平均は、いずれの教科も福島県はもとより、**全国の標準を上回っており、望ましい結果となりました。**一方で課題もあります。

本校生徒は、基礎的な学力は十分身につけているものの、その知識や技能を**活用する能力がやや弱い**…ということです。

活用力を見る問題は、長文のものが多く、問われていることをまず理解することが第1のポイント。第2に、その問題で問われていることに、学んだ知識をうまく組み合わせ、的確に答えることが必要になります。つまり、問題の状況を長文から読み取る能力がまず必要になります。

本校では、司書の渡部敬子先生を中心に読み聞かせや「家読（うちどく）」を推奨していますが、これらの機会を利用して、ぜひ本を読む習慣を身につけさせたいと思います。

雪による事故に注意

一時期少なくなった雪が、突然の大雪で一面会津の冬らしい景色になりました。ふと周りを見回すと、齋藤 清画伯の絵のような世界が広がり、一瞬見とれてしまいます。ただ、雪による事故も懸念されます。生徒はもちろんですが、保護者の方も十分注意していきましょう。

- 1 原則として歩道を歩行する。
- 2 歩道のない箇所並びに歩道が積雪のため歩行できないときは道路の右側を歩行する。
- 3 歩行の際は1列縦隊で歩行する。
- 4 夕暮れ時には反射材を使用するなど目立つ工夫をする。
- 5 道路状況に応じて安全な通路を確保する。
- 6 屋根や樹木からの落雪に注意する。
- 7 路肩からの滑落に注意する。



特選を受賞しました

先生方も頑張っています

24日、両沼地区小中学校の教職員研究物審査会があり、西山中学校の共同研究「授業のUD化によるわかる授業の研究」が中学校で唯一特選に選ばれました。本校の先生方が「わかる授業」をめざして、さまざまな工夫をしてきた実践報告です。生徒たちも頑張っていますが、先生方も頑張っています！！

